

14. 小児の歯科治療における泣く子の実態調査

○品川 光春, 品川知通子 (佐世保市・開業)

小児の歯科治療, 特に取り扱いの際, 最も気になるのは, 子供が泣くことではないかと思う。一般の歯科医から小児歯科専門医に紹介されて来院する患児の中で最も多いのは, 泣いて口を開けない, 治療をさせないといった理由で歯科医が取り扱いを放棄するケースのようである。演者らも, 子供が泣かなければ, ずいぶん診療が快適に行えるのにと考えることが度々ある。しかしながら, 子供が泣いて一番気になるのは我々術者よりも, 患児の両親であり, あるいは祖父母である。演者らは, 患児の保護者の方々に治療内容の説明をする際に, 女の子に比べて男の子はよく泣きますよ, 特に長男は泣きますよ, とか, また一人っ子も泣きやすいですよとか, 2才児は泣いてもしょうがないですよ等々, お話ししているが, では実際にそれらを裏付ける資料はというと, あまり持ち合っていないのが実情である。そこで今回, 泣くという現象にテーマをしづって, 当医院での実態についてまとめてみた。この結果が小児歯科専門医はもとより一般の歯科医にとって, 患児の保護者に治療について説明する際に, 少しでも参考になればと考え, 今回報告する。